

Q 地域で果たす民生委員の役割は

持田 敏明 議員



A 社会福祉の増進に努めることである

- 質問一** 民生委員の職務は。
- 二 民生委員の担い手の確保は。
 - 三 市町村によって開きがある民生委員の担当世帯数について。
 - 四 民生委員と行政、社会福祉協議会、自治会との情報共有は。
 - 五 民生委員の活動費について。
 - 六 民生委員は児童委員を兼ねるが、教育機関との連携は。
- 答弁一（市長）** 職務は、住民の生活状態の把握、援助を必要とする人に対する相談や助言、福祉サービスを利用するために必要な情報の提供、社会福祉事業者や社会福祉活動者との連携と支援、福祉事務所その他の関係行政機関の業務への協力などである。
- 二 地域福祉の重要な担い手であり、適切な人材の確保に努める。
 - 三 定数については、地域の実情



- 四 会議や研修会等で、市や社会福祉協議会等の情報提供をしているほか、活動や相談内容に応じて情報の共有と連携に努めている。
- 五 自治会との協働も行われている。
- 六 交通費や通信費、消耗品費など、1人当たり年間8万4000円を活動費として補助している。
- 七 学校行事への出席、見守り活動への参加などのほか、学校との情報交換も行っている。

Q 公共交通の充実・活性化について

小川 茂 議員



A 利便性、効率性を追求しつつ、財政面とのバランスをとる

- 質問一** 鶴ヶ島市地域公共交通活性化協議会について。
- 二 つるバス・つるワゴンの市の負担について。
 - 三 つるバス・つるワゴンのルート等の見直しについて。
 - 四 坂戸市で運行するさかちバス・さかちワゴンとの連携は。
 - 五 今後の公共交通の課題は。
- 答弁一（市長）** 道路運送法に基づく地域公共交通協議会もある。地域の実情に応じたバス運行の態様、事業計画等について協議し、合意形成を図ることにより、路線の新設や変更、運賃の設定等の法的手続が簡略化・弾力化される。
- 二 平成26年度の運行経費は1億371万9451円で、運賃収入を差し引いた市の補償額は675万6844円である。
- 三 利用者のニーズ、道路の整備状況、利用状況や停留所乗降者数などを考慮して見直しており、28年6月にルートとダイヤの見直しを予定している。
 - 四 28年6月の見直しに合わせ、特別乗車証を両市で共通して取り扱えるよう作業を進めている。
 - 五 高齢化が急速に進む中、地域公共交通の確保・維持は重要な課題である。利便性、効率性を追求しつつ、財政面とのバランスをとる必要がある。



つるバス・つるワゴン